

<p style="text-align: center;">アーティストと企業等との交流とネットワーク化</p> <p>広島文化賞受賞者等との交流や文化を通じた新たな交流の場として、ひろしまアートルラウンジを企画し、受賞者等の持つ資源を、文化関係者や企業など県民に広め、様々な分野の文化活動の活性化を図る。</p> <p>また、文化施設職員等研修事業と連携させ、ネットワーク効果の拡大を図る。</p>	
--	--

公2 文化創造活動促進事業（事業会計）


（ ）書きは令和元年度当初

事業内容	事業費等
<p>◆けんみん文化祭ひろしまの開催等</p> <p>けんみん文化祭ひろしま実行委員会の事務局業務を受託するとともに、『けんみん文化祭ひろしま’20』分野別フェスティバル「文芸部門(短歌, 俳句, 現代詩, 川柳)」を開催する。</p> <p>また、隔年実施の「展示部門(伝統工芸を予定)」を開催する。</p> <p>実行委員会事務局業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会等各種会議の開催 ・分野別フェスティバルの開催支援 ・経理及び負担金支出業務 <p>文芸部門の開催</p> <p>表彰式:令和2年12月13日(日) 広島県民文化センター(予定)</p> <p>展示部門の開催 (隔年)</p> <p>開催日:令和2年10月16日(金)～18日(日)(予定)</p> <p>場 所:広島県立美術館地下ギャラリー(予定)</p>	<p>事業費 10,656 千円 (9,373 千円)</p>
<p>◆地域文化の活動拠点の運営</p> <p>情報拠点・創造拠点の機能を持つ総合的な文化芸術発信拠点をめざし、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民文化センター情報コーナーでの情報収集・提供 文化・芸術情報等に関するポスター・チラシ 刊行物等の収集・掲出 ○ ひろしま文化・芸術情報ネット (ブンカッキーネットひろしま)の管理運営 文化芸術団体情報／ホール等施設情報／イベント情報 文化芸術振興施策／助成制度 ○ 『ひろしま文化大百科』の管理運営 	<p>事業費 1,400 千円 (1,400 千円)</p>
<p>◆文化施設職員等研修事業</p> <p>広島県から業務を受託し、市町文化担当職員や文化施設職員を中心に、メセナ会員、地元アーティストなどを対象とした人材育成・交流のための研修会を開催する。</p> <p>(40周年を契機とした新たな取組の拡充と連携)</p>	<p>事業費 443 千円 (443 千円)</p>

○ その他の事業

() 書きは令和元年度当初

事業内容	事業費等
<p>◆広島県文化団体連合会事務局の運営</p> <p>広島県文化団体連合会の事務局として、文化団体相互の連絡調整や各団体が実施する文化研究会講師招へい事業に対する助成等を行う。</p>	<p>県文連事業費</p>

<p>◆平山郁夫美術館との連携セミナーの開催</p> <p>けんみん文化祭ひろしまの展示部門の開催と協調して、(公財)平山郁夫美術館と連携したセミナー等を開催する。</p> <p>開催日：令和2年10月17日(土)(予定)</p> <p>場 所：広島県立美術館地下講堂(予定)</p>	<p>文化活動への共催</p>
<p>◆ひろしま神楽振興支援事業 </p> <p>「ひろしま神楽」の保存・継承、振興・活性化を目的に、令和4年3月末までの2年間、県内各企業等から寄せられた約210万円の寄附金をもとに、ひろしま神楽支援のための事業を行う。</p> <p>令和2年度は、シンポジウム「ひろしま神楽の未来を考える(仮)」及び「ひろしま神楽未来塾(仮)」の開催を予定しており、財団は実行委員会への参画及び負担金の支出を行う。</p> <p>実施主体：ひろしま神楽振興支援事業実行委員会</p> <p>構 成：特定非営利活動法人広島神楽芸術研究所(事務局) 広島経済同友会 (公財)ひろしま文化振興財団(事務局) 広島県環境県民局文化芸術課(監事) 広島経済大学教授(アドバイザー)</p> <p><シンポジウム></p> <p>ひろしま神楽を取り巻く現状・課題の共有化と県内神楽団の連携強化を図る。</p> <p>開催時期：令和2年6月頃を予定</p> <p>対 象：県内神楽団員・地元行政</p> <p><神楽未来塾></p> <p>「ひろしま神楽」の未来について、若手神楽団員、地元行政で具体策を検討</p> <p>開催回数：令和2年度内に3回～5回程度開催予定</p>	<p>事業費 1,600千円 (0千円)</p> <p>文化活動への共催 (実行委員会)</p>